








①事業実施報告書詳細

事業実施報告書詳細

学校名

上越市立大手町小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
3時間	本町商店街	<p>○地域にある本町商店街に出かけ、まちにはどのような看板があるのか見付ける。</p> <p>○見付けた看板を写真に撮ったり、お店の人に看板に込められた思いをインタビューしたりする。</p>	  	<p>&lt;子どもの作文シートから抜粋&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「商店街には、本当にたくさんの看板がありました。ぼくは、肉の米久さんの看板が色や文字の感じが好きです。商品であるお肉のことがアピールされていました。」</li> <li>・「商店街ならではの看板がありました。私は、本町に住んでいるんだけど、看板をじっくり見たことはなかったのでおもしろかったです。デザインの違いを見付けるのが楽しかったです。」</li> </ul>
2時間	学校	<p>○自分たちが見付けた看板の魅力やお店の人の思いを交流し合う。</p>	  	<p>&lt;子どもたちの交流の様子から抜粋&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私が見付けた囲炉裏庵さんは、おせんべいのお店です。おせんべいや和菓子のお店は、和風な看板が多かったです。杉田味噌店さんも和風な看板でした。お店の人も、商品に合った看板のデザインを考えていると言っていました。商店街にある看板から、いろいろなことが分かってびっくりしました。」</li> </ul>

8時間	学校	<p>○本町商店街で見つけた看板をもとに、自分たちの身の回りに必要な看板をデザインする。</p> <p>○子どもたち一人一人がデザインした看板をもとに、グループで検討する。</p> <p>○検討した内容をもとに、看板を作製する</p>		<p>&lt;子どもの作文シートから抜粋&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぼくたちは、生活</li> <li>・総合の時間で育てている野菜の看板をつくることにしました。ぼくたちのグループはスイカを育てています。本町の和菓子屋の大杉屋さんの看板を参考にしました。大杉屋さんの看板は、字が漢字で書かれていてシンプルなところがいいなと思いました。だから、ぼくたちもシンプルなデザインにして、よさを出したいと思いました。予定通りに作ることができて嬉しかったです。」</li> </ul>
-----	----	---	---	--

②学習指導案（計画段階の指導案。（修正版でも可））

単元名 (全13時間)	本町商店街の看板の魅力をさぐる
学習のねらい	○本町商店街の看板の魅力をみつける活動を通して、商店街ならではの看板の在り方や看板に対するお店の人の思いを捉える。
学習内容	1 本町商店街で見つけた看板とその魅力を紹介する。 2 それぞれの看板を比較して気付いたことを交流する。 3 交流を通して考えたことを作文シートに記述する。
参考資料 準備品 実施場所等	・子どもたちが撮影した本町商店街の看板の写真 ・パソコン ・プロジェクター ・スクリーン ・第5学年生活室

学習の流れ

時間	○学習活動	※教師の支援	□評価
15分	○本町商店街で見つけた看板とその魅力を紹介する。	※子どもたちが前時までの活動を想起しやすいように、看板の写真を大きく投影できるようにする。 ※看板のデザインの紹介と合わせて、お店の人にインタビューした内容なども紹介できるように問いかけていく。	□見つけた看板の魅力やお店の人の思いを伝えようとしている。
20分	○友達の紹介を聞いて、気付いたことや考えたことを伝え合う。	※看板そのものの魅力を伝えている場合とお店の人の思いをもとに看板が果たす役割を伝えている場合で、板書の位置を変える。 ※本町商店街の看板の写真を提示しながら、子どもたちがイメージをもたせやすくする。	□看板が果たす役割について考えている。
10分	○交流を通じた自分の考えを作文シートに記述する。	※本町商店街で看板を調査した直後に記述した作文シートも近くに置いておき、参考にできるようにする。	□自分の考えや友達の考えをもとに、商店街ならではの看板の在り方や看板に対するお店の人の思いを記述している。

### ③ 実施内容について

#### (1) 実施にあたり工夫した点

本町商店街は、本校から歩いて5分のところに存在している。本町商店街は、高田駅を中心として、上越市の中でも大きな商店街の1つである。そのため、様々な種類のお店が存在し、お店の数だけ看板が見られる。本町商店街の看板は、子どもたちにとっては、普段からよく目にしているものである。しかし、日々の生活では、なかなか看板に意識を向ける機会が少ない。今回の活動では、それぞれのお店の特徴を表す看板に着目することで、商店街ならではの看板の在り方について考えることができた。また、お店の人にインタビューをしたことで、看板に対する思いも聞き取った。そうすることで、普段とは違った視点で地域にある本町商店街を見つめ直すことができたと考えている。

#### (2) 実施にあたり苦労した点

本町商店街の看板の調査から、自分たちが過ごしている学校の施設内の看板づくりへと活動を発展させていくことが苦労した点である。それぞれのお店の人から聞き取った通り、看板にはそのお店の特徴を表したり、そのお店の人の思いが込められたりしている。そのため、看板を作製する目的を子どもたち一人一人にもたせる必要があった。だから、当初の予定を変更して、子どもたちが栽培している野菜の看板づくりの活動を行った。

#### (3) 児童の反応

単元の最後にA児が記述した作文シートが以下の通りである。

「ぼくは、自分の家为本町とは反対側にあるので、今まであまり商店街に行ったことがなかったです。だから、看板を探した時に、商店街の中をたくさん歩きました。そうしたら、本当にたくさんの看板があることがわかりました。お菓子屋さんや服屋さん、ラーメン屋さん、味噌屋さん、お肉屋さんなど、どんなお店にも看板がありました。看板を見ていたら、本町商店街にいろいろなお店があることがよくわかりました。栄喜堂さんは、お店の商品である瓦煎餅がお客さんに分かってもらえるように、店の名前の近くに書いてあると言っていました。ぼくは、自分が見つけた商店街の看板をお母さんにも教えてあげたいです。そして、家族で本町商店街で買い物をしてみたいです。」

A児の作文シートの記述を見ると看板を通して、商店街についての思いを深めている様子がうかがえる。単元の後、A児は実際に家族で本町商店街で買い物をしたそうである。

#### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

私は、生活・総合のフィールドワークで、これまで本町商店街を度々訪れていた。しかし、私自身、お店や品物には注目していても、看板には意識が向いていなかった。今回、子どもたちと活動したことで、商店街への認識が確実に変わった。また、看板を活用した教材の開発を考えたいと思うようになった。